



To Club Presidents and Secretaries in DISTRICT 2790

vol.

7

ガバナー月信



2011-12

2012年1月号

発行 / 2012年1月1日

COPY FOR MEMBERS



こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

新年のご挨拶

国際ロータリー第2790地区

ガバナー 山田修平



新年明けましておめでとうございます。

地区内の各クラブ会長・幹事の皆様は、任期の丁度半分が終了致しました。皆様のクラブが「より強力な・魅力あるクラブに」なりますよう、残り半年間の任期をクラブの皆様の為に精一杯お努め頂きたいと存じます。

昨年7月19日に始まりましたガバナーの公式訪問は、11月30日をもって終了することが出来ました。公式訪問の間、各クラブ会長・幹事の皆様、ガバナー補佐の皆様はじめ、多くの皆様に大変お世話になりました。心から厚くお礼申し上げます。

公式訪問では、幾つかのクラブで例会における食事の時間についてお話しさせて頂きました。多くのクラブが、開会の点鐘後食事の時間を設けておりました。この食事の時間に15～25分間充てておられました。例会の食事時間は、会員同士が一緒に食事をしながら情報交換をしたり、懇親を深めるという大変有意義な時間であると思います。しかし、全てのクラブが例会の時間を1時間としていますので、食事の時間を除くと、25～45分間しかなくなってしまいます。

私共のクラブは、点鐘前に食事を済ませています。第4分区内には8クラブありますが、その内の6ク

ラブが点鐘前に食事を済ませています。この比率で地区内クラブは運営されていると思っていましたが、実際にお伺いすると、点鐘前に食事を済ませるクラブは、15%位でした。

点鐘前に食事を済ませますと、点鐘後1時間を例会として使えます。逆に言うと、現在の進め方より15～25分間多くの時間を使える事になります。私は、この15～25分間を会長の時間として、ロータリーの話しをされたら如何ですか、とお話し致しました。

昨年度ガバナー・エレクトとして、館山ロータリー・クラブで卓話をさせて頂きました、その際に、食事時間についてお話しさせて頂きました。このクラブは、早速被選理事会を開催して、テストケースとして毎月の第1例会を点鐘前に食事時間とし、クラブ会長、ロータリー情報委員会、雑誌委員会でそれぞれ8分間を充てることにされました。これがうまく機能しない場合には、元に戻します。と伺いました。

時には逆さになって見つめてみよう、今迄見えなかったことが見えてきます。勿論、例会の進め方はクラブの裁量権です。ガバナーは推奨する立場です。こう言う方法もあると言う事をクラブで検討されたら如何かと思います。



国際ロータリー第2790地区

ガバナー事務所: 〒292-0806 木更津市請西東1-5-4 TEL:0438-72-2790 FAX:0438-72-2794

E-mail 11-12gov@rid2790.jp URL <http://www.rid2790.jp>



ロータリー理解推進月間

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 山田 修平

今月はロータリー理解推進月間です。皆様のクラブではこの月間に合わせて、既に様々な予定をされておられることと存じます。

ロータリー理解推進月間では、対内的には会員研修の充実を図り、対外的には広報活動に力を入れて頂きたいと思います。

会員研修の充実につきましては、月信第5号(11月号)でも触れましたが、皆様のクラブ会員全員がロータリーに精通するようにして頂きたいと思います。

会員研修の方法として、私はグループディスカッション(GD)をお薦めしております。この方法は、8~10名程度のグループを作り、あらかじめテーマを発表して皆さんに研究して来て貰い、当日はリーダーが参加者全員にほぼ等しい時間の発表をして頂くというものです。卓話ですと、卓話者1人の話しか聞けませんが、GDでは、多くの皆様の意見を聞けます。同じテーマに対して様々な意見を聞けますので、大変勉強になると思います。

GDではこのグループの結論はこうです、と纏めるのが目的ではありません。出来るだけ多くの意見を発表して頂くのが目的です。入会後間もない会員は、意見を発表するにも良く分からない事も有ると思います。それはそれで良いのです。出来ればリーダーは、こうした新会員でも発表できるような質問をするのも任務の1つです。新会員には、他の皆さんの意見を聴くだけで充分研修になると思います。

新会員の多くは、私共が何気なく使っているロータリー用語に戸惑っていると伺いました。各クラブでは、新会員がクラブに溶け込めるよう援助する会員を選任しておられます。あるクラブで、例会ではこの援助会員が新会員と一緒にテーブルに座り、卓話者の話しの中でロータ

リー用語があった場合に、その場で解説されるという方がおられると聞きました。大変素晴らしいことだと思います。皆さんのクラブでも、援助会員の方にそのようにして頂けるように配慮されたら如何でしょうか。

R I 理事会の決定事項は、殆ど推奨事項です。決して強制事項ではありません。クラブが弱体化していますが、或いはクラブを活性化するためにこうした方法を取り入れられたら如何ですか、という事です。ガバナーはR I の役員ですから、R I 理事会の決定事項には従う義務があります。しかし、クラブは裁量権により選択することが出来ます。R I 理事会からこう言う推奨事項がきたが、自分達のクラブはこれに対してどのように対処するか話し合いをして決定して行く訳です。こうした選択をする為には、会員がロータリーに精通していないといけないのではないかと思います。これが選択する際の物差しです。私はクラブ会長・幹事の皆様に、クラブ研修の充実をお願いしていますが、全会員がロータリーに精通して頂きたいものです。クラブ会長、幹事の皆様は、皆様のクラブの中から、将来の指導者を育成して頂きたいと存じます。

対外的な広報活動についてですが、決議23-34の第6項f)に「当然ロータリー・クラブに帰すべき功績であっても、それに対する自分の力の力を最小限度に評価して、その全てを協力者の手柄にするようにしなければならない。」とあるように、ロータリーは隠匿を旨として参りました。従って対外広報は、最も苦手な分野になってしまったのではないのでしょうか。その為ばかりではないと思いますが、ロータリーの認識度は非常に薄くなっているようです。

R I 理事会は、こうしたことを危惧して、広報補助金を用意する等、対外広報に力を入れるようになりました。従来隠匿を旨としていたロータリーですが、これからは大いに対外広報に励むべきと言う訳です。皆様のクラブでも、積極的に対外広報を実施されるようにして頂きたいと思います。

新年のご挨拶

ハリスのことば

バスト・ガバナー 佐川 一元
(船橋南RC)



だいぶ昔になりましたが、ポール・ハリスさんがロータリーの会合を開いた部屋というのを、ガラス窓越しにのぞいたことを思い出します。その時ハリスは「私たちが皆、かつて田舎町で味わった、相互協力と打ち解けた親睦という非常に単純な構想が基本のクラブである。」と言ったと国際ロータリー物語と題した「奉仕の一世紀」に書いてあります。

だからこれがロータリーの原点であることに間違いはありません。この原点を守り続けてきたからこそ、今日の世界を覆う大ロータリーが出現したのです。だから、ややこしい哲学を振り回してロータリーを説明されると、戸惑うばかりです。原点はこの言葉にあります。人間関係とその生活をどこまでも大切にしましょう。

新春を迎えて

バスト・ガバナー 黒田 實
(茂原RC)



おめでとうございます。昨年のも東日本大震災後、如何お過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。あの出来事を静かに思い浮かべますと、今この様に普通の生活が家族共に元気で過ごせる事に感謝の気持ちで一杯です。普通の生活が如何に幸せかを学び、普通であることの美学を教わりました。

また、礼の作法をもって「和」を尊ぶ人は常に自分の心を整えられているお姿を拝見しますと、互いに意見が異なっても信じ合い認め合うことが本当の平和ではないでしょうか。心が楽しい時は物も美しく見えます。人の心は立派に見えます。今年も素晴らしい心で礼を盡し「和」を重んじる社会にと勉めたいものです。

喜々として ほとぼしる 小川の流を
(ザ・ロータリアンより)

新春を迎えて

バスト・ガバナー 齊藤 博
(市原RC)



新珠の春を迎え、心改まるものがございます。ロータリー年度にとって元旦は折り返し点で、来し方を顧みて過去の実践を反省し、未来の実践の糧とする為、心新たにするときであります。ゆとりあるところに社交クラブあり。大らかな気持ちで人生を送る。禅宗のお寺に行きますと、「日々是好日」と記してございますが、お寺を守る和尚さんの心の中は、融通無碍の天国に基準を置いて、「心頭滅却すれば、火もまた涼し」あの境地であります。

ロータリーはそれ程ではないけれど、ロータリアンはどこか奥ゆかしさがなければならない。表現はさることながら、そのある種の摂取したエネルギーを我々社会管理者として、どのように造って行ったら良いのか。これがロータリアン一人一人に課せられた課題であろうかと存じます。

タヌキ糞子で心を洗われ

バスト・ガバナー 土屋 亮平
(松戸RC)



国際ロータリー第2790地区、各クラブの会長・幹事の皆様、健やかに新年をお迎えになられ、心からお祝いを申し上げます。

さて、去る当地区大会で重田 R I 会長代理の国際ロータリーの現状報告に因りますと、既に試験的プログラムが実施されているとのことでありました。準会員、法人会員、革新性と柔軟性のあるロータリー・クラブ、衛星クラブ、試験的プログラムと思いつく儘、短絡的に会員の数を増やす手法のみに尽きるのではないかと嘆かざるを得ません。思い過せば人頭分担のみが総てとしか思い当たりませんし、其れも、肥大化を続ける R I の組織維持だけの為に。

其れに引き換え、本年度の地区大会アトラクションに出演して下さった、木更津市立第一小学校の皆さんによる「たぬきばやし」の純粹無垢な演技に久しぶりに酔いしれ、感動の涙で心を洗い清められました。有難うございました。

年頭御挨拶

パスト・ガバナー 石井亮太郎
(松戸東RC)



初寿に当たり御挨拶を申し上げます。

昨年日本は国難とも云う可き災害に見まわれ、多くの尊い命が失われ、被災された方々が生活の場を失われた事は誠に傷ましく、哀悼の意を捧げ、併せてお見舞を申し上げるものでございます。ロータリーとしても、織田パスト・ガバナーがガバナー会より委員長に選出され、支援の対応に当たって頂いて居ります。地区として、各クラブとして、個々ロータリアンとして、出来得る支援を届けたいものと思う次第です。年度も後半に向かいます折、各クラブ、会員の皆様に於かれては、更なる御発展、御活躍が得られます様、心から御祈念申し上げ、年頭の御挨拶と致します。

新年のご挨拶

パスト・ガバナー 長島洋三
(市川東RC)



新年おめでとうございます。皆様方には輝かしい新春を迎えられたことと拝察し、心よりお慶び申し上げます。

新年早々恐縮ですが、ガバナー月信に投稿の機会を頂きましたので、あえて昨近の地区大会の在り方に苦言を呈したいと思えます。

昨年から、地区大会の運営が経済的に困難になってきたという理由で、全会員が人頭分担金形式で、毎年地区大会の費用を負担することになりました。会員の減少に歯止めのかからない昨近、やむを得ないことと思えますが、人頭分担金制度を採用した場合、地区大会の主催者のガバナーは、大きな責任と義務を背負わなければなりません。人頭分担金を徴収した以上、全会員の半数つまり1400人を超す参加を想定し、会場を設営しなければなりません。

ところが、去年も今年も本会議場が狭く、一部入場制限をしたと聞いておりますが、これが

真実ならば誠に遺憾であり、言語道断のそしりは免れないと思えます。どうぞガバナー・エレクトやノミニーにおかれましては、地区大会に参加する会員こそ、地区大会の主役であることを再認識され、参加者の楽しめる会場を設営されますようお願い致します。

ロータリー雑感

パスト・ガバナー 平山金吾
(成田RC)



新年おめでとうございます。ロータリーに入会して以来34年、各役職を仰せつかり今日を迎えて来た。この間、様々なタイプのロータリー会員を見て来た。会員に2つのタイプがある事に気が付いた。「ロータリー会員」として各種会合に出席もし、適当に奉仕活動にも参加し、それなりの役職もこなして来ている「ロータリー会員」。一方ロータリーの神髓と言われる、ロータリーのモットーを信奉し、四つのテストを実践し、綱領を自得し、自分の生活と企業経営に活かしている「ロータリアン」がいる。「ロータリアン」は家庭も安定し、企業も繁栄している。結局「あんな人が入っているロータリー」か、「あのような方が入っているロータリー」かの違いかと思う。会員増強が叫ばれているが、会員が減少しているクラブはこの点の反省が必要かと思う。少なくともその地域において響きを買う様な会員は入会させないことが重要である。ある団体では義援金を1,000万円も誤魔化して使ってしまう役員が居ると新聞に出ていた。一人でもこんな人がいればその団体の価値は全く地に落ちてしまう。今更言うまでもないが、各自がバッチを付けている事を自覚する事が重要である。



新春のご挨拶

パスト・ガバナー 森島 庸吉
(船橋西RC)



明けましておめでとうございます。ロータリアンの皆様並びにご家族の皆様には益々ご健勝で明るい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年中は皆様方の温かいご指導とご交誼を賜り充実した年を過ごさせていただきました。深く感謝申し上げます。

ロータリーの原則を尊重し、歴史を学び、中核となる価値観における組織文化の指導原理を研鑽し、「内には倫理の高揚を、外には他のために奉仕の実践を」を日々の生活の中で生かしていきたいと願っています。ロータリーから受けた数々の恩恵を返す努力を続けていきたいと思っています。ロータリーから大勢の友人と経営のノウハウと生きがいを頂いている幸せに感謝の日々です。

新年に当たり、会員皆様ロータリー家族皆様の益々のご隆昌ご多幸を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

パスト・ガバナー 秋元 秀夫
(君津RC)



謹賀新年
天生代
今年も苦難の年と思われまます。ロータリーは神が必要としたからこの世に生れ 私達ロータリーマンはその期待に応えなければならぬと存じます。本年もよろしくお願いを申し上げます。
平成二十四年元旦 秋元秀夫

新年のご挨拶

パスト・ガバナー 鈴木 雅博
(市原中央RC)



謹んで新春のお慶びを申し上げます。国際ロータリー第2790地区、ロータリアンの皆様には御家族お揃いで輝かしい新年をお迎えされた事と存じます。

ロータリーの年度では、山田ガバナーの豊かな御見識による素晴らしい御指導を戴き、楽しく有意義にロータリー運動に参加させて戴く事ができ、感謝して居ります。今後の御指導をも心よりお願い申し上げます。

計り知れない自然の力に大きな影響を受けた昨年でしたが、大きな圧力でも韌に適切な対処が執れたのは、ロータリーの基本的な真理と高尚な思想を弁え、育む事を怠らずに励んで来たからであると思います。

「数が力」として闇雲な動きも在りますが、道徳的・倫理的に優れた思想を極めた、又、極め様と努力する、其の処にロータリーの力が在るのです。

諸説在ると云えども、揺るがぬ信念の下に本筋を曲げずに、ロータリー運動を進める事を生き方の軸として行く事を年頭で新たにしました次第です。

皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

古参会員のつぶやき

パスト・ガバナー 増田 裕
(千葉中央RC)



ロータリーでは人生哲学論とか職業倫理論とかが歴史的強調事項として語り継がれてきています。また近年は、会員増強（新会員勧誘、現会員退会防止）が組織における永遠の課題であるとして躍起になって謳われてきています。

しかし、この一見あたり前の事項を前にして思い悩むのは私ばかりではなさそうです。

なぜならば、私も古稀を過ぎ、仕事上の現役（医師）を職首され引退を余儀なくされるのもそう遠くはありません。職業奉仕をしたくとも出来なくなるし、年会費や体調等でロータリーに在籍することも難しくなります。職業奉仕の実践や新会員の勧誘に寄与出来ないまでも、退会だけは避けたいと思っていますが、先は明るくはありません。過去にロータリーを生涯貫いた人より、断腸の思いで去った仲間のほうをたくさん知っています。

何とか明るい方向へ歩める策を示唆してくれる人が現れないかなと思う新年です。

懸念な報道

パスト・ガバナー 杉木 禧夫
(茂原RC)



新春を迎え、ご多幸をご祈念申し上げます。
首題の件、それは昨年11月16日、ご覧の方もあ
らうかと存じますが、日本テレビ、ミヤネ屋「厚
労省へ…ワクチン求めさまよう母親たち」、私
自身驚愕と怒りを覚えた番組でした。画面は生
ワクチン投与でポリオが発症、何と健康体を奪
われ苦しむ母子の映像でした。

ロータリーはポリオ撲滅に傾注し、公式発表
でも世界を検知し、撲滅は最終段階に入ったと
の見解であったはずです。こともあろうに、こ
の日本での惨状には、わが目を疑いました。

欧米では“不活化ワクチン”により発症は皆無、
日本でも来春には漸く不活化ワクチンへとの大
臣の談ですが、しかしその間の親御さんの不安
は如何程か、防げる病には常に迅速な対応が望
まれます。皆様はどの様にお考えでしょうか？

2012年頭所感 復興待公

パスト・ガバナー 山中 義忠
(船橋南RC)



恒例、新年の御挨拶を申し上げます。改めて
東日本大震災の災害を蒙られたロータリアン及
びその御家族、職員皆様に衷心よりお見舞い申
し上げます。

復興は復旧から始まる行動ではありません。
尊き人命が無きものになった空虚からの復活、
そう「新生」なのであります。ロータリーの物
心の支援は、西洋流の素早いものでありましたが、
残念ながらロータリー対ロータリーの心が殆ん
どと言えましょう。物の方は、遺体処理、瓦礫
撤去、避難所設置等など政府、自治体、市町村
即ち公の体制、規制、解釈の相異が、その支援
を物があっても遅らせています。

待公はそれでも被災地被災者が、寒風に曝さ
れながらも現実の新生支援を信じ、待つ、無言
の東北人魂その姿なのであります。ロータリー

は政治と行政には介入しない規則があります。

然しロータリアン個人は、ロータリー活動の
公式時間外にこの遅れを取り戻す人道的進言を
該当公人にとことぐらいは、勿論許されるで
しょう。地区ロータリアンの皆様に、良きお正
月を願っています。

語り合い、考える

パスト・ガバナー 白鳥 政孝
(市原RC)



「揺れる欧州、眠る日本」は大変な試練を受
けています。自分の頭で考え決断する真の指導
者の出現が待たれます。私たちも本質を問うロ
ータリー運動を考えざるをえない状況に直面し
ています。

人間は無力ですが「考える」力があります。
それは、自然の猛威をくぐり抜け、文明を發展
させ文化を築いてきた優れた力です。しかし、
この「考える力」を生かさずして噂に翻弄され
るケースが実に多い。悪いことに、噂は責任を
他に転嫁し、人の善意とはかけ離れ、否定的で
後ろ向きになる。

そこで、学問からの確かな判断力を養い、それ
を軸に語り合い、ロータリーの在るべき姿を考
える訓練を積むことが大切になります。

職業奉仕の心がロータリー思想の根幹をなす
ならば、「語り合い、考える」は、ロータリー
の活力の源であり、ロータリー運動の基軸とい
えます。



一灯を掲げて暗夜を行く。 暗夜を憂うこと 勿れ、唯、一灯を頼め

(佐藤一斎「言志晩録」第13条)

パスト・ガバナー 崎山 征雄
(習志野中央RC)



3月11日の東日本大震災の傷跡が未だ癒えず、2790地区でも旭市、浦安市、習志野市、我孫子市、千葉市、他の地域でも津波や大規模な液状化現象などの被害を受け、今なお多くの方々が、日々の生活に困難を強いられています。喪中のご案内も多い中、新年のお祝いを述べる事はご遠慮したいと思います。

ただただ初陽に迎い皆様のご多幸を祈念いたします。

「唯、一灯を頼め」とは、僅かにその「一灯」を頼りに皆様は進まなければならない。そしてこの「一灯」とは自らの強い志と理解し、釈迦の最後の教え「自灯明・法灯明」の如く、自らを灯火として、自らを拠り所とし、真理を灯火として拠り所とせよとの意味と理解し「大震災後一年目の奉仕のリーダー」としての役割を地域で存分に発揮され、行動され、ロータリーの質的強化、量的拡大増強に向けてより力強く、山田ガバナー年度の目標貫徹、得居GE新年度に向けての準備活動を祈念いたします。

「賀春」

パスト・ガバナー 中村 博巨
(柏西RC)



新年明けましておめでとうございます。皆様にはご家族おそろいで清々しい新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

「心の中を見つめよう 博愛を広げるために」のターゲットで始まった、カルヤン・バネルジーR I会長年度も、上半期が過ぎ、いよいよ後半に入りました。各クラブの皆さまには次年度へ向かっての準備にお忙しいことと思います。

昨年の中日本大震災は大変不幸なことでありましたが、その中に日本人の絆の強さ、ボラン

ティア活動に従事する多くの若者達の姿に感動するとともに未来への明かりを見た思いでした。ロータリーが掲げる「思いやりの心」、「慈悲と博愛の心」を多くの人々に見いだせたことは、ロータリーの未来への夢に通じるものと嬉しく思いました。

東北地方の復興には長い年月が必要と思われませんが、ロータリーの仲間と共に力を注げたらと思います。

皆様のご多幸を祈念して!!

2012年 元旦

パスト・ガバナー 織田 吉郎
(銚子RC)



新年明けましておめでとうございます。

本年が皆様にとりまして、心豊かな一年となりますよう祈念申し上げます。

震災で親を失った青年達に安心して進学の夢を追いかけてもらうための環境づくりをしたいと、昨年末に皆様からの義援金をベースに「ロータリー希望の風奨学金」を立ち上げました。次代を担う青年達が夢を膨らませること、それは日本のとりわけ東北の真の復興に欠かせない大事な要素であると確信しています。

私達は“せめて10年でいいから戻ってやり直したい”と思うことがあります。見方を変えて“今10年後から戻ってきたんだ”と考えれば“今なら未来をやり直せる…”と思えてきます。

ロータリーの危機、今ならまだやり直せる…10年後のロータリーの混乱の歴史を塗り替えるために、今また新しい一年が始まる、そう考えながら一日一日を大切に活動を積み重ねてまいります。

「自分が考えたとおりに生きなければならない。そうでないと自分が生きたとおりに考えてしまう。」(ブルジュ)

本年もよろしく願いいたします。

新年のご挨拶

ガバナー・エレクト 得居 仁
(松戸東RC)



あけましておめでとうございます。

山田ガバナー年度前半の活躍に心からの敬意を表し、後半の奉仕活動の更なる成功を祈念申し上げます。

早速1月15日から始まります国際協議会に出席してまいります。

昨年11月に大阪で行われましたロータリー研究会において、「長期計画」を今後「戦略計画」と言い変えるとされましたが、呼び方が次期RI理事が発言されたように、ロータリーの綱領が示している理念と「戦略計画」との関わりが不明のままでは、私は、次年度当地区が「戦略計画」を策定することは困難であると考えています。

国際協議会では、当然に研修の大きなテーマとなるであろう「戦略計画」について、この禍々しい語感が果たしてロータリーに相応しいものであるのか、その具体的な内容は何であるのか、また何が求められているのか、をしっかりと学んでまいります。

幸いにも今年度RIに職業奉仕推進委員会が設けられたことにより、当地区の多くのロータリアンの共感が得られる方向への回帰の兆しが見て取れると思います。

次年度は、この大切な潮目を逆流にすることなく、地区内84クラブがロータリーの綱領を推進するお手伝いをする地区であることを目指してまいります。

どうぞよろしくご協力のほどお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

ガバナー・ノミネー 関口 徳雄
(浦安RC)



明けましておめでとうございます。

地区大会も終わり、山田年度も折り返し点を過ぎました。重点目標の一つである各クラブ10%の会員増強の成果は？会員の減少は地区予算の減少ともなり、各事業計画に影響を及ぼすので、私としても他人事ではありません。

私の直前ガバナーとなられる得居さんは先のある会合で御自分の基本方針として「職業奉仕」に軸足を置き、「新世代奉仕」に力を注ぐと申されました。そして、昨今の青少年犯罪の増加を懸念し、ロータリーは青少年の教育にも口を出すべきではないのか？とも言及されました。

私は、2013-14年度ガバナーとして、将来をしっかりと見据えた重点目標を設定しなければならないと思っております。そして、否応なく私の年度には、ロータリー財団の「世界でよいことをしよう」の標語のもと、「未来の夢計画」が始まります。私も今から心して準備したいと思えます。

近頃、ロータリーは単年度制の慣行から継続性へと軸足を移し、長期計画のもとに安定した事業計画を求めています。

山田ガバナーそして得居エレクトが私の年度に残してくれる安定した、且つ多くのロータリアンに支持される事業計画とは一体何なのか？引き継ぐものとそうでないものもしっかり取捨選択し、来るべき私の年度の基本方針、そして事業計画や委員会構成を考えたいと思っております。

年頭にあたり、皆様の御多幸と御健勝をお祈り致します。

～地区大会「新世代の集い」報告～



環境かずさ会議

新世代奉仕委員会 委員長
津 留 起 夫

今地区大会では、銚子大会に引き続き討論形式で新世代の集いを行うことにした。それが、「環境かずさ会議 水資源について」と「環境模擬国連 かずさ議定書」である。本会議場では、R財団・R米山記念の学友・奨学生を含めた、ロータリー・ファミリーである新世代の紹介をしたが、特に、模擬国連の決議報告の時間を設けていただいた大会運営地区幹事の皆様には心より感謝をしたい。それは、大会のプログラムという自覚と責任を、そして大きな会場での発表体験を新世代にさせたいとの思いからである。また、実行委員会形式で運営を進めてきたが、関係委員会の皆様のご協力にも感謝したい。特に「かずさ会議」でR米山奨学金・学友中村俊人委員長の巧みな進行に拍手を送りたい。参加者は、インターアクターとR米山記念奨学生である。国情の違いを日本の高校生は、驚きと反省をこめて水の大切さの感想を述べていた。「水道の水があるのに何故買うのか」という奨学生の意見にはっとした。この討論で得たことを、水を使う場面で思い出してほしい。



環境模擬国連

環境委員会 委員長
山 内 みどり

地区大会の二日目に、かずさアカデミアホール103会議室に於きまして、参加国8か国、参加者17名（インターアクター・ローターアクター・ROTEX）により、環境模擬国連「気候変動枠組条約かずさ議定書」が開催されました。「模擬国連」は国連での会議を想定し、チームが一国の大使となり他国の大使と交渉を繰り返します。国際ロータリー第2790地区では、1985年以来前年度に引き続き2度目の開催となります。この度も、模擬国連のメンバーのご指導とご協力をいただき開催することができました。模擬国連の方々には改めて御礼申し上げます。当日は長時間に亘り先進国、途上国、後進国と各国間の活発な討議がされ、決議案も無事採択されました。青少年による環境をテーマとする模擬国連は、環境問題を考える機会としてだけでなく、模擬国連の手法により国際理解、討議力、交渉力等を養う新世代の研鑽の場であると思います。今回の経験を活かし、日本そして世界でご活躍されますことをご祈念致しますとともに、ご期待致しております。



環境かずさ会議の様子



模擬国連の様子



本会議での発表

寄付者紹介(敬称略)

ロータリー財団寄付

年次寄付 (ポール・ハリス・フェロー)



江澤 貞雄
(木更津RC)



河合 直志
(松戸西RC)



本吉 武久
(木更津RC)



森 和夫
(習志野中央RC)

年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



金子 研一
(船橋東RC)

12回目



寺澤 一良
(千葉南RC)

11回目



大倉 崇
(市原中央RC)

7回目



相澤 友夫
(船橋東RC)

6回目



諏訪 廣勝
(市原中央RC)

5回目



輪湖 葆子
(船橋みなどRC)

5回目



松田 紀明
(市原中央RC)

4回目



遠田 毅
(船橋東RC)

3回目



山田 光雄
(木更津RC)

3回目



坂登 輝夫
(千葉港RC)

2回目



武田 勲
(市原中央RC)

2回目



花澤 茂
(習志野中央RC)

2回目



大久保 忠男
(船橋東RC)

1回目



鈴木 理
(習志野中央RC)

1回目



戸澤 寿史
(船橋東RC)

1回目

恒久寄付 (ベネファクター)



五十嵐 明道
(松戸東RC)



平野 弘和
(木更津RC)



青木 忠茂
(船橋RC)

3回目



山崎 新一
(船橋東RC)

1回目

米山記念奨学会寄付

米山功労者



相澤 友夫
(船橋東RC)

31回目



寺澤 一良
(千葉南RC)

21回目



山口 習明
(船橋東RC)

9回目



平野 弘和
(木更津RC)

6回目



浅野 久
(松戸北RC)

5回目



花澤 茂
(習志野中央RC)

5回目



堀内 正一
(木更津RC)

5回目



輪湖 葆子
(船橋みなどRC)

5回目



竹口 茂子
(船橋みなどRC)

4回目



藤井 仁毅
(船橋東RC)

4回目



大原 俊弘
(船橋東RC)

3回目



池田 兼雄
(市原中央RC)

2回目



岸田 修
(習志野中央RC)

2回目



小澤 盛明
(松戸北RC)

1回目



柴田 正道
(船橋東RC)

1回目

新ロータリアン(敬称略)



久保利 栄
(船橋RC)
不動産売買
10月11日入会



永田 勝久
(八千代RC)
大学名誉教授
10月14日入会



菊田 秀樹
(佐原香取RC)
プロパンガス販売
10月22日入会



田中 保生
(船橋RC)
音響サービス
10月25日入会



仙田 和雄
(柏RC)
ビーズバック製造
10月26日入会



新井 和夫
(浦安ベイRC)
税理士
11月2日入会



山本 衛
(松戸西RC)
陶磁器卸販売
11月2日入会



森 義隆
(松戸西RC)
経営コンサルタント
11月30日入会



植田 健司
(千葉中央RC)
建設業
12月1日入会



黄 經 褒 章
(敬称略)

大塚 裕正
(千葉南RC)
運送業
11月18日入会



林 剛史
(野田東RC)
司法書士
11月18日入会



小森 哲
(佐原RC)

R.I. 第2790地区(千葉)2011年11月出席・会員数報告

分 区	ク ラ ブ 名	出 席 率 %	例 会 数	会 員 数				
				7/1	女	当 月	女	増 減
第1分 区	市川	100.00	3	47	0	48	0	1
	市川東	100.00	5	41	0	40	0	-1
	市川南	79.40	4	16	1	17	1	1
	浦安	88.10	4	42	0	41	0	-1
	市川シビック	75.75	3	36	0	35	0	-1
	浦安ベイ	86.40	3	21	0	22	0	1
第2分 区	船橋	89.91	5	23	0	27	0	4
	船橋西	90.74	4	45	4	48	5	3
	鎌ヶ谷	79.37	3	25	2	24	2	-1
	船橋東	90.74	4	26	2	29	2	3
	船橋南	94.00	4	21	2	21	2	0
船橋みなと	93.04	5	26	7	25	7	-1	
第3分 区A	千葉	90.55	4	65	0	69	0	4
	新千葉	71.42	4	49	0	50	0	1
	千葉西	88.70	4	50	4	51	4	1
	千葉中央	88.23	3	36	0	36	0	0
	千葉幕張	84.51	5	34	4	33	4	-1
	千葉東	69.10	4	32	4	31	3	-1
	千葉若潮	78.77	3	29	0	28	0	-1
第3分 区B	千葉南	85.78	4	34	4	39	5	5
	市原	81.25	4	43	3	44	3	1
	千葉港	76.19	3	29	0	31	0	2
	市原中央	81.55	4	51	1	52	2	1
	千葉北	80.28	4	23	1	24	1	1
千葉緑	71.85	5	25	2	27	2	2	
第4分 区	木更津	76.51	3	41	4	42	4	1
	上総	75.00	3	18	0	21	0	3
	富津	94.11	5	16	1	17	1	1
	富津中央	82.19	4	20	0	20	0	0
	木更津東	93.09	4	44	0	44	0	0
	君津	94.87	4	34	2	41	3	7
	袖ヶ浦	96.15	4	26	3	26	3	0
	富津シティ	82.40	4	17	0	17	0	0
第5分 区	館山	90.62	4	52	3	53	3	1
	鴨川	87.70	4	29	4	29	4	0
	勝浦	86.84	4	38	5	38	5	0
	千倉	88.10	3	15	1	15	1	0
	鋸南	93.30	3	14	1	15	1	1
館山ベイ	71.21	3	22	0	21	0	-1	
第6分 区	茂原	86.40	3	58	2	59	2	1
	東金	88.57	5	21	0	21	0	0
	大原	88.20	3	14	1	15	1	1

分 区	ク ラ ブ 名	出 席 率 %	例 会 数	会 員 数				
				7/1	女	当 月	女	増 減
第6分 区	大多喜	81.55	4	11	1	11	1	0
	成田空港南	84.55	3	40	0	41	0	1
	茂原東	88.04	4	23	2	23	2	0
	茂原中央	80.68	4	23	2	23	2	0
	大網	76.57	4	32	3	32	3	0
	東金ビュー	61.70	3	27	1	27	1	0
第7分 区	銚子	89.63	4	42	2	42	2	0
	旭	92.00	4	38	1	41	1	3
	八日市場	78.34	5	46	2	47	2	1
第8分 区	銚子東	84.83	5	29	0	36	0	7
	佐原	81.40	3	48	0	47	0	-1
	多古	76.88	5	15	0	16	0	1
第9分 区	小見川	80.00	4	20	0	20	0	0
	佐原香取	81.52	4	26	0	27	0	1
	成田	100.00	4	58	0	61	0	3
第10分 区	八街	85.77	4	36	1	38	1	2
	印西	74.93	4	26	0	26	0	0
	白井	80.00	4	15	0	15	0	0
	富里	73.42	4	28	0	28	0	0
	成田コスモポリタン	75.07	4	60	0	62	0	2
第11分 区	柏	64.70	4	45	8	50	8	5
	我孫子	82.20	4	25	0	27	0	2
	柏西	82.84	4	51	3	54	4	3
	柏東	90.00	3	20	1	20	1	0
	柏南	86.60	4	29	4	30	4	1
第12分 区	習志野	58.96	4	35	1	36	1	1
	八千代	75.75	4	49	0	50	0	1
	佐倉	56.25	3	13	2	16	2	3
	八千代中央	92.10	5	27	0	28	0	1
	四街道	69.08	5	22	3	22	3	0
	習志野中央	84.78	3	41	6	46	6	5
第13分 区	佐倉中央	64.28	3	13	2	12	2	-1
	松戸	85.90	4	51	0	52	0	1
	松戸東	95.00	4	53	0	52	0	-1
	松戸北	85.40	5	35	0	37	0	2
	松戸中央	61.46	3	37	3	37	3	0
松戸西	85.71	4	22	0	25	0	3	
第13分 区	野田	86.76	4	50	4	51	4	1
	流山	81.66	3	19	4	20	4	1
	野田東	84.66	4	32	0	32	0	0
	流山中央	77.78	4	21	2	21	2	0
野田セントラル	86.54	4	25	0	25	0	0	

クラブ数	84R.C.	2011年7月1日	地区会員数	2,706人	当月平均出席率	83.52%
		2011年11月末日	地区会員数	2,792人	増減	86
		2011年7月1日	地区女性会員数	126人	女性会員増減	4
		2011年11月末日	地区女性会員数	130人		

物故会員 (敬称略)



黒田 雅 俊 (木更津RC)

逝去日：2011年11月27日 (享年64歳)

入会日：1988年

ロータリー歴

2004-05 クラブ幹事

2008-09 クラブ会長

2009 最高裁判所長官表彰

マルチプルボールハリスフェロー 6回

ベネファクター 1回

米山功労者 4回

1月のロータリーレート

78円